北区社協だより

NO. 67
平成24年3月発行

もくじ

★福祉推進委員会(福祉の会)活動セミナー開催報告……P2
★平成23年度福祉除雪サービス協力お礼・共同募金実績報告P3
★新琴似地区福祉のまち推進センター
モデル活性化支援事業の取組み紹介……P4～5
★ふれあい・いきいきサロン紹介……P6
★平成24年度 事業計画・予算……P7
★寄附お礼、賛助会員紹介・募集、ボランティア保険
更新案内・事務局からご報告……P8

編集発行／社会福祉法人 札幌市北区社会福祉協議会
北区北24条西6丁目 北区役所1階
TEL 011-757-2482 FAX 011-737-7270

平成23年度(第16回)北区ボランティア連絡会『交流会』を開催しました!

藤女子大学の活動発表の様子

武蔵女子短期大学の活動発表の様子

北区ボランティア連絡会「交流会」

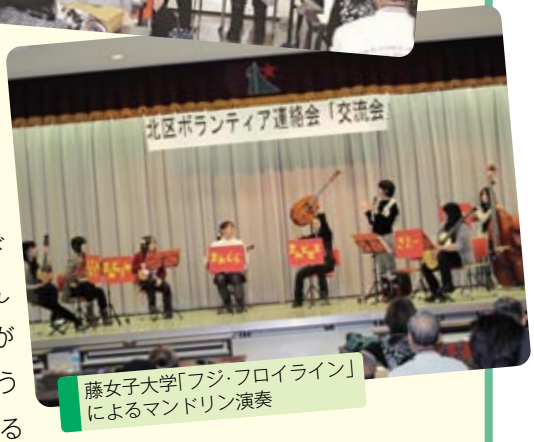
北区ボランティア連絡会では、去る2月17日(金)、第16回目となる「ボランティア交流会」を、北区民センター3階の区民ホールで開催しました。

例年は、ボランティア活動者同士の交流の場として開催していたこの行事ですが、今年度は趣向を変え、藤女子大学・武蔵女子短期大学・北海道大学・幌北連合町内会所属の学生ボランティア組織の学生さんをお招きし、それぞれの組織で行われているボランティア活動の内容を発表していただきました。参加したボランティアのみなさんは、熱心に発表に聴き入り、出された質問に学生さんが一生懸命こたえ、自分たちの活動を伝えようとしている姿が印象的でした。

午前中には、北星学園大学の池田雅子教授をお招きし、学生と地域ボランティアとの関わりなどについてご講演いただきました。

池田雅子北星学園大学教授の講話を聴く様子

プログラムの最後には、アトラクションとして、藤女子大学の学生ボランティア組織「マンドリンクラブ―フジ・フロイライン」の学生さんたちによる、マンドリンオーケストラの演奏が行われました。「丘を越えて」や「川の流れのように」など、若い学生さんがマンドリンで奏でる懐かしいメロディーは大好評で、参加したボランティアのみなさんは、手を叩いたり一緒になって唄ったり、最後には想定外のアンコールまで飛び出して、大盛況のうちに閉会となりました。学生ボランティアさんが、普段どんな活動を行っているのかを知る、とても良い交流の場となったようです。


藤女子大学「フジ・フロイライン」によるマンドリン演奏

北海道大学の活動発表の様子

幌北連合町内会「ネオロス幌北」の活動発表の様子

北区福祉推進委員会（福祉の会）活動セミナーを開催しました!

左から発表者の長屋氏、小林氏、新井氏

北区社会福祉協議会では、独居高齢者等の孤立死や児童虐待等の社会問題に取り組んでいくため、ご近所づきあいの延長線である『より小さなエリアでの支え合い活動』を推進しています。

ご近所さんのちょっとした変化に「気づく」ことが、問題解決の第１歩であると考え、概ね単位町内会圏域ごとに『**福祉推進委員会（福祉の会）**』という組織づくりを支援しています。

平成24年2月16日には、この『福祉推進委員会（福祉の会）』の活動への理解を深めるとともに、地域の絆を深めるための具体的な取り組みであり、脱「無縁社会」への効果的な取り組みとしても注目されている『**サロン活動**』に焦点をあてた活動セミナーを開催しました。

当日は、町内会関係者等260名を超える参加があり、みなさんの問題意識の高さが感じられる中、はじめに札幌市社会福祉協議会の職員より、『サロンで深まる地域の絆～顔の見える支え合い活動』と題した講演を行った後、常日頃から『福祉推進委員会（福祉の会）』の活動を実践していらっしゃる3名の方から活動発表をしていただきました。

活動発表いただいたのは、手稲区手稲鉄北地区曙第22町内会の**長屋氏**、北区北地区北第9町内会の**小林氏**、北区新琴似西地区ロイヤルシャトー新琴似西町内会の**新井氏**です。

長屋氏からは、平成15年を町内の地域福祉元年と位置づけ、地域福祉について勉強会を重ね、翌年に発足してからこれまで取り組んできたサロン活動や、民生委員と地域ボランティアの協働による地域での見守り活動などについて発表いただきました。

小林氏からは、平成17年から取り組んできたサロン活動の中で感じられた効果、また昨年取り組まれた「地域福祉マップ」づくりと、町内で起こった孤立死や、見守りによって孤立死を防ぐことができた事例などについて発表いただきました。

新井氏からは、まずは住民の顔を覚えるために取り組んだ「一声かけ運動」や、住民からの要望により、マンションの集会室を利用して、平成23年から取り組み始めた高齢者対象のサロンと子育て世帯を対象とした2つのサロンの取り組み、また、様々な取り組みによって、町内会会員相互の交流が深まっていった経緯などについて発表いただきました。

3名の方からの、自分たちの地域の問題に対する熱心で具体的な取り組みをお聞きし、参加された方々も、これからの地域福祉活動の取り組みの参考としていただけたようです。

北区社会福祉協議会では、
「うちの町内でも活動を始めたい!」
という声にお応えいたします。

ご近所でお互いに思いやる「福祉推進委員会（福祉の会）」の活動を始めてみませんか? まずはお気軽にご相談を!!!

連絡先
社会福祉法人 札幌市北区社会福祉協議会
住所：札幌市北区北24条西6丁目 北区役所1階
電話：011-757-2482

福祉除雪サービスへのご協力ありがとうございました

福祉除雪サービスは、多くの地域協力員のご協力によって支えられている事業です。
地域協力員の皆様のご理解、ご協力に厚くお礼申し上げます。
平成23年度の福祉除雪サービスは、北区内にお住いの664世帯の高齢者世帯・障がい者世帯が利用し、地域協力員の皆さまのご協力をいただいて無事終了することができました。

地域協力員のご紹介 ※順不同

幌北地区、北地区、麻生地区、新琴似地区、新琴似西地区、屯田地区、新川地区、太平百合が原地区、拓北・あいの里地区、篠路地区の皆様（92の町内会より195名のご協力）、除雪個人ボランティアの皆様（26名）、（株）リベラル様、セブンイレブン麻生町6丁目店様、大和開発工業（株）様、末広建築設計事務所様、HTS運転代行サポート様、札信電気實業（株）様、新日技建開発（有）様、丸輝北都興業（株）様、（株）米山土建様、（株）グリーンガーデン様、（株）丸周中村土木様、（有）グリーンメンテナンス黒澤様、NPO法人シーズネット様

今年度初めて福祉除雪サービスを利用された方からのお礼のお手紙

朝８時に玄関の戸を開けて、除雪されているのを発見。人生初めての経験なので、びっくりしました。
郵便箱には「本日の除雪は午前7時5分に終了しました」という紙片が投函されていました。
お寒い中、早朝の除雪に心から感謝を申し上げます。家の中にいると外音が聞こえませんのでご挨拶も申し上げられず、心からの感謝を申し上げてお礼と致します。ありがとうございました。

平成23年度「赤い羽根・共同募金運動」実績報告

平成23年度も、10月1日から12月31日までの間で、「赤い羽根・共同募金運動」が実施されました。今年度も、たくさんのあたたかい募金をありがとうございました。いただきました募金は、札幌市共同募金委員会を通じて中央共同募金会へ送金され、平成24年度の地域福祉事業のために有効に使われます。

①戸別募金（それぞれのご家庭からいただいた募金）

お願い額	構成比		実績額	構成比		平成22年度との比較		お願い額達成率
¥17,000,000	北区	14.4%	¥9,920,966	北区	12.3%	H22	¥9,995,283	58.4%
	市全体	100.0%		市全体	100.0%	増減額	¥−74,317	

②法人募金（企業や団体などからいただいた募金）

お願い額	構成比		実績額	構成比		平成22年度との比較		お願い額達成率
¥1,470,000	北区	13.9%	¥803,318	北区	7.3%	H22	¥752,460	54.6%
	市全体	100.0%		市全体	100.0%	増減額	¥50,858	

③街頭募金（街中で呼びかけて、いただいた募金）

お願い額	構成比		実績額	構成比		平成22年度との比較		街頭募金運動に参加していただいた方々の人数
例年、設定されていません。	北区	−	¥150,053	北区	3.2%	H22	¥660,606	
	市全体	−		市全体	100.0%	増減額	¥−510,553	13団体・114人

平成23年度は、残念ながら天候に恵まれず、街頭募金運動の中止が相次ぎました。

①戸別募金 ＋ ②法人募金 ＋ ③街頭募金

お願い額	構成比		実績額	構成比		平成22年度との比較		お願い額達成率
¥18,470,000	北区	14.1%	¥10,874,337	北区	11.3%	H22	¥11,408,349	58.9%
	市全体	100.0%		市全体	100.0%	増減額	¥−534,012	

ツルハドラッグさん 各店舗別募金箱実績

新川3条店	¥1,476
北36条西店	¥2,680
マックスバリュ北32条店	¥336
北24条西店	¥1,037
篠路東店	¥368
北13条店	¥149
新琴似4条店	¥648
あいの里店	¥4,556
篠路店	¥1,168
新琴似店	¥1,087
新道西店	¥1,079
北24条店	¥634
新琴似2条店	¥534
屯田6条店	¥1,910
計14店舗	¥17,662

「地域の福祉力」の向上

平成23年度地区福祉のまち推進センターモデル活性化支援事業の取り組み

地区福祉のまち推進センターモデル活性化事業は、地区福祉のまち推進センターの活動が、より地域住民の日常生活と密接に関わり、広く認知される活動として一層活性化することを目的に、平成15年度から北区内の1地区を1年間重点的に、北区社会福祉協議会が支援している事業です。

今回は、平成23年度にモデル地区として活動した新琴似地区福祉のまち推進センターの活動の様子を紹介します。

地域の現状と課題

新琴似地区は、北区内で1番人口が多く、高齢化率は新琴似西地区に次いで2番目に高い地区です。

札幌市で『福祉のまち推進事業』の取り組みが始まった平成７年に地区福祉のまち推進センター（以下、福まち）を開設し、地区内に38ある町内会のうち35の町内会に福祉の会（福祉推進委員会）を設置して、地域での福祉のまち推進活動を推進してきました。

これまで、福まちでは、各福祉の会への助成による活動支援と「一人暮らし高齢者の交流会」を主な活動として取り組んできましたが、急速な少子高齢化や近隣関係の希薄化等を背景とした様々な社会問題が発生する中で「地域で本当に支援を必要としている方のための取り組みができているのか」という課題について話し合われるようになりました。

平成24年1月1日現在

人口	40,236人
世帯数	19,788世帯
年少人口	4790人（11.9%）
生産人口	25,354人（63.0%）
老年人口	10,092人（25.1%）
町内会数	38町内会

福祉のまち推進センター運営委員会

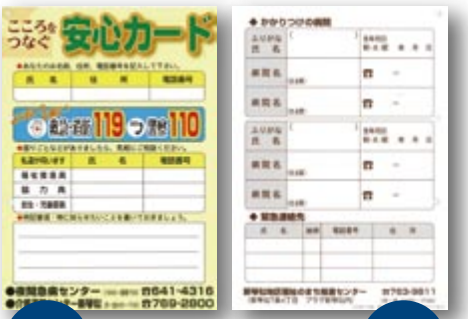
新たな取り組み

浮かび上がった課題について、役員で何度も協議を重ね、住民が安心して暮らすことのできる地域づくりのための「福まち活動」を模索した結果、23年度は以下の3事業を柱に取り組むこととしました。

1 あんしんカードの作成・配布

緊急連絡先、担当民生委員・福祉推進員やかかりつけ医、既往症などを記入して電話のそばに置けるカードを作成。

各町内会（福祉の会）に配布し、見守り活動を行う上での訪問のきっかけづくり、またカードの配布希望者を募ることで見守り対象者の把握などにつながる。



おもて　あんしんカード　うら

2 住民意識調査の実施

地域住民が日頃どのようなことに困っているか、困ったときにだれを頼りにしているかなどのアンケート調査を実施し、調査結果を今後の福まち活動の事業計画に役立てるとともに、意識調査の実施により福まちの存在をPRする。

を目指して

（新琴似地区福祉のまち推進センター）

福祉推進員研修会

3 研修会の実施

一般住民向けに、地域福祉活動に興味を持ってもらえるような研修会を開催し、活動の担い手不足の解消の一助とする。

福祉推進員などの活動者を対象とした研修会については、地区内に1番から6番まである番通ごとに3グループに分けて実施し、内容についても少人数での意見交換を取り入れる。

これらの3つの事業を進めるために、運営委員を振り分けて3つのチームを編成し、企画・実施することとしました。

取り組みの効果

①「あんしんカード」については、12月20日現在で27町内会に992枚を配布し、すでに訪問活動の際に持参して高齢者等に手渡した町内会もあれば、あんしんカードの配布のために、地域の見守り対象者を把握することから始めた町内会、そして福祉の会を立ち上げるきっかけとなった町内会などがあり、その取り組み状況は様々でしたが、安心カードの作成・配布が福まち活動の活性化の一つにもなりました。

②「住民意識調査」については、調査結果から、地域住民が今一番困っていることは「災害時の助け合い」であることが分かりました。また、「見守り・安否確認にお手伝いできる」と答えた方が44.4%もいるといううれしい結果もあった反面、「社会福祉協議会や福祉の会を知らない」という方が50%を超えているという課題が見えてくる結果となりました。

③「研修会」については、一般住民向けの研修会には約90名の参加があり、参加者へのアンケート結果では、「研修を受講して社会福祉推進に参加・協力したい」という方が84.5%いらっしゃるなど一定の成果がみられました。また、活動者を対象とした研修会についても、福祉推進員・町内会役員・民生委員が参加し、少人数でのグループ協議の中でお互いの取り組みや課題などを話し合い、今後の取り組みの参考としていただけたようでした。

これからの展望

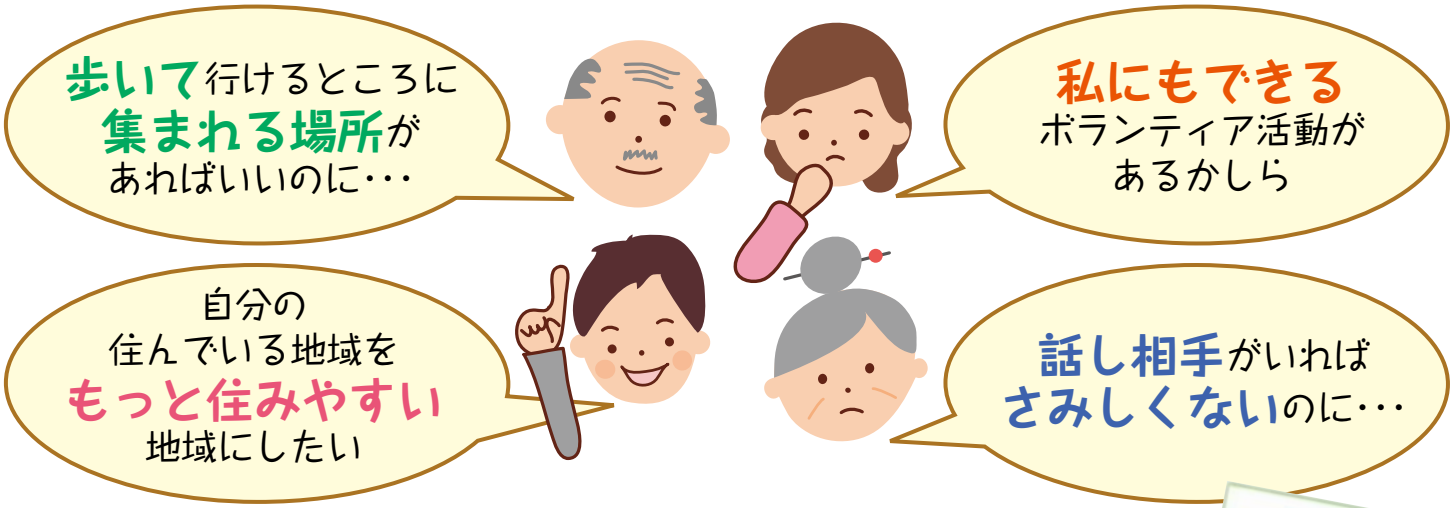
23年度は、様々な新しい取り組みを進めた新琴似地区でしたが、各取り組みについて一定の効果が見られた一方でいくつかの課題が浮き彫りとなりました。24年度は、これらの課題に対する取り組みが必要となってきます。

今後の取り組みとしては、見守り体制が確立していない町内会への支援方法、災害時の助け合いの仕組みづくり、福まち・福祉の会の認知度を上げるための広報活動、サロン活動の拡充・支援、更なる活動者の掘りおこしなどが考えられ、新年度に向けての話し合いが進められています。

新琴似地区は、自分たちの活動をもう一度見つめ直し、今必要とされている地域福祉活動について考え、地区社会福祉協議会・福まち、町内会、民生委員児童委員、関係団体が一体となって、自分たちの地域を安心して暮らす事のできる地域としていくために活動してきました。今後も浮き彫りとなった課題に対し、地域がお互いに支え合うやさしい街づくりの実現に向け、更なる地域福祉の取り組みが進められていくことが期待されます。

新琴似地区社会福祉協議会（地区福祉のまち推進センター）
札幌市北区新琴似7条4丁目1番3号 プラザ新琴似内 TEL 763-9811

ふれあい・いきいきサロン



北区社会福祉協議会は、近隣での仲間づくりの場、閉じこもりの予防、また見守り・支え合い活動にもつながる『サロン活動』を応援しています。

下記の要件を満たして、ご登録いただいたサロンには、助成制度により活動費の一部助成（５年限度）も行っていますので、「はじめてみよう!」と思い立ったら、ぜひ北区社会福祉協議会にご相談ください!

登録要件

- 参加対象（高齢者、障がい者、子育て世帯）
- 5名以上の参加（子育て世帯は5組以上）
- 概ね月1回以上の開催（年10回以上）
- 特定の参加者・趣味活動だけでなく、だれもが気軽に参加できる場

※申請内容を審査した後、助成を決定いたします。

パンフレット

北区内のサロン活動

北区内で41か所（平成24年1月現在）の「ふれあい・いきいきサロン」が登録し活動しています

平成24年度 事業計画

1 地域福祉活動の推進

（1）地区社会福祉協議会活動の強化・充実
（2）地域連携活動支援事業費助成【新規】
（3）福祉のまち推進事業の推進
　①地区福祉のまち推進センター活動費助成及び活動支援
　②モデル活性化支援事業（モデル地区／新琴似地区）
　③北区福祉推進委員会活動セミナー
　④地区福祉のまち推進センターの周知・広報
　⑤北区福祉のまち推進センター連絡会議の開催
（4）ふれあい・いきいきサロン活動に対する支援
　①登録サロンへの運営費助成及び活動支援
　②ふれあい・いきいきサロン交流会の開催
　③ふれあい・いきいきサロンの周知・広報
（5）地域福祉出前講座の実施

2 ボランティア活動の推進

（1）ボランティア活動に関する相談・需給調整
（2）ボランティア活動の情報提供
（3）ボランティア研修会の開催
（4）地域見守りサポーター推進事業【新規】
（5）北区ボランティア連絡会の活動支援
（6）ボランティア展2012の支援

3 高齢者福祉活動の推進

（1）移送サービス事業の実施
（2）福祉除雪サービス事業の実施
（3）日常生活自立支援事業の実施
（4）高齢者関係機関、施設、団体等との連携

4 障がい（児）者福祉活動の推進

（1）移送サービス事業の実施〔再掲〕
（2）福祉除雪サービス事業の実施〔再掲〕
（3）日常生活自立支援事業の実施〔再掲〕
（4）札幌市地域自立支援協議会北区地域部会への参加
（5）障がい関係施設、団体との連携

5 福祉教育の推進

（1）社会福祉協力校指定事業の推進
（2）青少年関係機関・団体との連携

6 低所得世帯等福祉活動の推進

（1）生活福祉資金の貸付相談
（2）応急援護資金の貸付相談
（3）特別生活資金の貸付相談

7 福祉啓発活動の推進

（1）北区社協だよりの発行（年3回）
（2）ボランティアセンターニュースの発行（年6回）
（3）札幌市社会福祉協議会ホームページの活用

8 民生委員児童委員協議会活動の推進（事務局運営）

9 共同募金運動の推進（事務局運営）

10 会務の運営

平成24年度 収支予算

■収入

（単位：円）

科目	23年度予算（A）	24年度予算（B）	増減（B-A）
事業活動による収入…①	31,817,000	32,360,000	543,000
会費収入	919,000	1,099,000	180,000
寄附金収入	300,000	300,000	0
市補助金収入	8,644,000	8,344,000	−300,000
共同募金配分金収入	1,613,000	1,452,000	−161,000
市社協助成金収入	15,968,000	16,642,000	674,000
参加費収入	27,000	27,000	0
負担金収入	4,300,000	4,430,000	130,000
受取利息配当金収入	46,000	36,000	−10,000
雑収入	0	30,000	30,000
施設整備等による収入…②	0	50,000	50,000
施設整備等寄附金収入	0	50,000	50,000
その他の活動による収入…③	100,000	450,000	350,000
サービス区分間繰入金収入	100,000	450,000	350,000
前年度からの繰越金…④	8,035,000	6,882,000	−1,153,000
収入計…①＋②＋③＋④	**39,952,000**	**39,742,000**	**−210,000**

■支出

（単位：円）

科目	23年度予算（A）	24年度予算（B）	増減（B-A）
事業活動による支出…①	33,426,000	33,397,000	-29,000
法人運営事業関連支出	2,651,000	2,379,000	−272,000
地域福祉推進事業関連支出	21,804,000	22,277,000	473,000
福祉のまち推進事業関連支出	8,671,000	8,371,000	−300,000
基金運営事業関連支出	300,000	370,000	70,000
施設整備等による支出…②	265,000	100,000	−165,000
器具及び備品取得支出	265,000	100,000	−165,000
その他の活動による支出…③	126,000	480,000	354,000
社会福祉基金積立資産支出	26,000	30,000	4,000
サービス区分間繰入金支出	100,000	450,000	350,000
次年度への繰越金…④	6,135,000	5,765,000	−370,000
支出計…①＋②＋③＋④	**39,952,000**	**39,742,000**	**−210,000**

あたたかいご寄附ありがとうございました

平成24年
1～3月

北区の地域福祉推進のために、有効に活用させていただきます。

■匿 名 様……5,000円

■札幌市立北辰中学校生徒会 様……車いす1台
（札幌市北区グループホーム管理者連絡会へ）

■匿 名 様……500,000円

賛助会員を募集しています

北区社会福祉協議会では、地域福祉活動を広く推進するための財源を確保すべく、賛助会員を募集し、会費を募っています。

北区では、この会費を移送サービスの運行経費などに充てており、利用者の皆様に大変喜ばれています。

趣旨に賛同し、ご入会いただける方は、本会事務局、または右記口座へのお振込みをもって、ご入会をよろしくお願い申しあげます。

会費額（年額）	個人（1口）1,000円 団体（1口）2,000円
振込口座（郵便局）	02760-7-41893
口座名義	社会福祉法人 札幌市北区社会福祉協議会

平成24年1月1日から3月31日までに会員となっていただいた方と団体［順不同］

個人会員

■三間 秀子 様　■三川 博子 様

団体会員

■白楊会町内会 様　■北区健康をまもるつどい 様

ボランティア保険更新のご案内

ボランティア活動保険とは、ボランティア活動中の事故を補償する制度で、ボランティア自身のケガなどはもちろん、相手にケガをさせてしまった場合や、活動場所の物品などを壊してしまった場合などに適用されます。安心してボランティア活動に取り組んでいただくため、加入をお勧めしています。

■年度末（3月31日24時）で失効する制度ですので、更新がお済みでない方は、手続きをお願いします。

■補償期間は、社会福祉協議会の窓口で加入手続きした翌日0時から、平成25年3月31日24時までです（平成24年度内のいつ手続きしても、平成25年3月31日24時をもって失効します）。

■中途解約による保険料の払い戻しはありません。

保険料、詳しい加入手続き方法などについては、社会福祉協議会までお問い合わせください。

事務局からご報告

会長新旧交代のお知らせ

6期・12年を務めました、大西義弘北区社会福祉協議会会長が、3月31日をもって退任しました。長年にわたり、北区の社会福祉活動に多大な貢献をされましたことを、心より感謝申しあげます。なお、新会長には、鉄西地区社会福祉協議会会長であります瀬野尾嘉明氏が理事会で選任されました。

湯浅繁男事務局長退任のご挨拶

平成19年4月に北区社会福祉協議会の事務局長に就任させていただいて以来5年間、各地区の社会福祉協議会をはじめ、民生委員児童委員協議会、さらには社会福祉事業に携わる関係者の皆様方には、親愛なるお心を賜りましたことに厚く御礼申しあげます。皆様方におかれましては、益々のご活躍とご健勝を心よりお祈り申しあげます。

なお、私の後任には堂前晃氏が就任しますが、私にお寄せいただきましたご厚情を、堂前新事務局長にもお寄せいただきたくお願い申しあげます。大変お世話になりました。

お問い合わせ／社会福祉法人 札幌市北区社会福祉協議会　TEL 011-757-2482　FAX 011-737-7270